

奈良公園での巨木観察会

担当:2班

おなじみの奈良公園は、明治になって、近代化政策の一環としての公園制度ができ、明治13年(1880年)に開設され、今日に至っています。660ヘクタールもの広大な地域にまたがり、歴史的文化遺産でおなじみなことは言うまでもありません。かつて日本近代医学の父といわれたドイツ人医師・エルヴィン・フォン・ベルツが、奈良公園をして「およそ地上に、これ以上理想的な平和な風景はない。」と言わしめたほどです。

こうした歴史を重ね、数百年を今に生きている巨木が奈良公園には多いことをご存じでしょうか。今回はいつものような観光ではない切り口で、巨木と出会い、皆さんと不思議な体験をしてみたいと思います。このような世界があったことに新たな発見があるかもしれません。

巨木とは、地上1.3mの幹回りが3m以上のもの(環境省定義)をいいますが、約20本を順に巡ります。

なお、今回の企画にあたっては「グリーンあすなら」という団体が作成された基礎資料を参考にさせていただきました。

開催日 : 2021年12月24日(金)

集 合 : 近鉄奈良駅 地上の行基像周辺 10:00

- ・ Aグループ(1・2班)、Bグループ(3・4班)、Cグループ(5・6班)の3グループに分かれて、5分ずつ時間をずらして出発します。途中で先頭をB・Cと順番に交代します。

参加費 : 無し。ボランティアガイドへの謝礼金はそら組会計から支出されます。

持ち物 : 飲み物 弁当 敷物 マスク 雨具、ハイキングスタイル、防寒具、など

行 程 : 近鉄奈良駅 ➡ 興福寺周辺(3本) ➡ 春日大社周辺(14本) ➡ 近鉄奈良駅 (14:30頃解散)

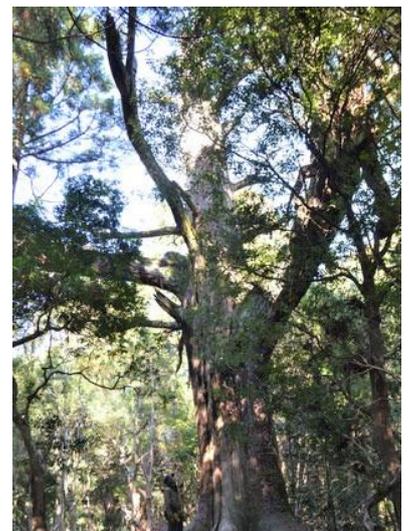
- その他 : 1. 各班長は参加予定者数を12月10日(金)までに、2班副班長の乾までお知らせください。
2. 実施の可否は前日夕方の天気予報により、奈良市の降水確率が50%以上の場合は、中止を全体メールでお知らせします。



ケヤキ:幹周4.9m



クスノキ:幹周4.8m



スギ:幹周6.5m